くも合戦

かじき 広報

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き

（平成2年1月1日現在）

総人口23,856人（＋17）	出生　17人
男　11,237人（＋7）	死亡　11人
女　12,619人（＋10）	転入　98人
世帯数 8,309　（＋7）	転出　87人

●（　）内は前月との比較●

春を待ちわびる菜の花も突然の雪にとまどい気味（丸岡にて）

早春

寒明けとは、一年中で最も寒い〝寒〟の終わることをいいますが、暦の上では立春、ここから春が始まり、それ以後は早春と呼ばれる季節となります。

とはいえ、寒が明けたといっても、それはあくまで暦の上のことで実際には、まだ寒さが消えやらず、残っている。——余寒という言葉がぴったりの季節です。

しかし、どことなく自然の気配に春めく感じがし、春の足音が聞こえてきます。もう春がきたのかな、それともまだ冬の延長なのかな——判断つきかねるのは、この時期に限らず季節の変わり目によくある特徴といえそうです。

今月のページ

■ディ・サービスセンターが開園，椋鳩十さんをしのんで…2ページ　■竹山ダムが完成…3ページ　■まちの話題“馬踊りの練習”ほか…4～5ページ　■カメラ・ルポ“成人式ほか…6ページ　■成人おめでとう…7ページ　■新成人の抱負…8～9ページ　■町内一周駅伝…10ページ　■文芸，在宅医…11ページ　■おしらせ…12ページ

平成2年 2月号

●No. 424　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62－2111●

入浴や機能回復訓練を
ディ・サービスセンターが開園

町が建設を進めていた〝加治木望岳園ディ・サービスセンター〟（高田玉子園長、職員七人）が完成し一月二十六日、宇都宮町長や福祉事務所長、望岳園や福祉課の職員など関係者百人余りが出席して開園式が行われました。

ディ・サービス事業は、町が加治木望岳園に委託して実施するもので、開園式では、宇都宮町長や晶貴会の高田昌英理事長、姶良福祉事務所長、溝口県議会議員などがテープカットを行った後、宇都宮町長が「すばらしい施設を生かし、在宅のお年寄りに、入浴や食事のサービスを提供するほか、機能回復訓練やレクリエーションなどを通じて、在宅のお年寄りの孤独感の解消や介護者の負担の軽減を図ってまいりたいと思います」と祝辞を述べました。

テープカットを行い完成を祝う

寝たきりの人も入浴できます

ディ・サービスセンターは、鉄筋コンクリート平屋建て四百四十平方メートル。寝たきりの方でも利用出来るベッド型浴槽も備えられており、また、専用のリフト付きバスで送迎も行うことになっています。

この日は、開園式の後、さっそく、上野光さんや福留四男さんら二十五人が、入浴やゲームなどを楽しんでいました。

希望者は、町福祉課にお申込みください。一人一回につき七百円の負担が必要です。（週一回）

椋鳩十さんをしのんで
〈第13回〉

茨城大学名誉教授
解釈学会会長
山口　正

「西郷さんの詩心（うたごころ）」を書こうとして

私は、『西郷隆盛の詩魂』を書いたとき、亡き父が「西郷さんという人は……」と前置きしては、その性格の好もしさ、又は良さと素晴らしさ等のことを匂わすような結びで終わる面白い逸話や一口話を、楽しそうな語り口で時折してくれたことを思い出して、いくつかのことを書いたのです。幸い、幾人かの人が、あなたはその愛すべきお父さんを通してあの偉人のことを、語れる立場にいると言えるのだから、もっとくつろいだ調子で書いてみなさい、と言ってくれる程に、思いのほかありがたい共感を持ってくださったようです。

あの本でも書いたと思いますが、父は平凡な、世間なみに家庭的で、子供たちに期待をひそかにかけながら、自分の仕事を真面目にこなしていく、そんな人でありました。一番私の印象に深く残っているのは、西郷さんがそうであったように、人は礼儀正しく、決して威張るような態度をとってはならぬ、人は優しい心根で世間の人に接し、けれども、芯は強くなければならぬ、貧乏だからといって恥ずかしいなどと思ってはならぬ、などということなどでした。

還暦を迎えて間もなく病死した父のことを思うたびに、父の心情には及びもつかないけれども、せめて、父よりも長生きしてその分だけでも、「世のため人のため」に「まごころをつくす」ということを、どこまでできるか自分の能力をためす意味からも、実行してみようと考えています。その私に、このごろ切ない願いとでも言えそうな、一つの希望が生まれてきたのです。これは胸底に秘めておこうとも思ったことがありますが、むしろ、そのことを手がかりとして、この『西郷さんの歌ごころ』も書きついでみよう、という気になりました。

西郷さん関係のものを読んだ人は、きっと「西郷星」の話を読まされたことがあるはずですが、その話も、さすがに夢のような話だけれどと弁解がましいひと言をつけながら、一度か二度、私に語ったことがあります。明治22年憲法発布のとき国粋主義者の手で暗殺された森有礼のことを語ってくれた話の序でのことでした。（父は右翼も左翼も嫌いで、警戒していました。）

西郷さんがどこかへ亡命して生きている、などという話とはこれは大きく違うのだと思うのが、西南の役の後しばらく人々の間で、かなり真剣な語り草として絶えなかった西郷星の話。私に、父の気持ちが乗り移ったのか、このことは考えてみなければなるまい、と心ひそかに課題のように抱え込んでいたのです。これは、明らかに西郷さん敬慕の現れでなくて何であろうと思い、西郷さんの心を己が心とする限り、西郷魂という霊魂は生き続けてゆくのだと思います。明治維新は二百年や三百年の事業ではなかった、国家千年の大計は、後々のわれわれが受け継いでゆく大事業なのだと信じます。ロマンに憧れての夢語りなどではありません。

台地に水を……竹山ダムが完成

県営畑総十三塚原地区

十三原地区の千四十四ヘクタールにかんがい用の〝恵みの水〟を供給する「竹山ダム」が完成し一月二十三日、溝辺町や加治木町、隼人町から町長や受益者代表など関係者三百人余りが出席して、発電及び通水記念式典が開催されました。

竹山ダムは、県が七十一億円をかけて、昭和五十年から溝辺町有川に建設を進めていたもので、十三塚原にかんがい用水を供給するほか、ダムの電気施設や揚水機などの維持管理費の軽減を図るため最大出力百九十キロワットの発電も行うことになっています。

記念式典では、初めに溝辺町長や県知事代理などが記念碑の除幕を行い、ダムの完成を祝いました。

また、発電式では、溝辺町長や県知事代理などがスイッチを押し九州電力を通じて〝電気〟の供給が始まりました。

この後、水尻原台地で畑かん通水式が行われ、溝辺町長や受益者代表などがバルブを開くとスプリンクラーから一斉に水が飛び出し大きな拍手が沸きました。

参加者は「これで霜や灰の害も心配なく、お茶などの生産に打ち込めます」と話していました。

記念碑を除幕

恵みの水を供給

県営畑地帯総合土地改良事業

十三塚原地区

この事業は、新鹿児島空港建設に伴い、溝辺、加治木、隼人にまたがる空港周辺台地（通称十三塚原）の営農に大きな影響が予想されることから、地域住民の強い要望により、畑地かんがいを主軸とした総合的な土地改良を行い、農業構造を抜本的に改善し、地域農業の発展により農家の生活安定と向上に寄与するとともに、ダム下流への責任放流及び豊水期のかんがい不要な流量を有効に利用して発電を行い、売電により、竹山ダムの電気施設、揚水機などの維持管理費の軽減を図るものです。

事業は、昭和四十九年に始まりました。

表彰状を手に

渓谷や自然林を生かした整備を

多目的保安林総合整備事業が起工

〝宇曽ノ木滝周辺の渓谷や自然林を生かし「明るい山作り」を進めよう〟と多目的保安林総合整備事業の起工式が一月十六日、西別府の現地で開催されました。

この日は、宇都宮町長をはじめ県農林事務所や町経済課の職員、地権者代表など関係者二十人余りが参加して神事が行われ、宇都宮町長などがクワ入れを行い工事の安全を祈願しました。

多目的保安林総合整備事業は、国の指定を受け、県が一億円余りをかけて、宇曽ノ木滝周辺十七・五ヘクタールを保安林としての機能の向上を図りながら、森林浴や水に親しめる山林として整備するもので、平成元年度は、山桜千三百十二本やクヌギなどを植えるほか、遊歩道や展望公園などが、また、平成二年度には高岡公園と龍門滝を結ぶつり橋などが建設されることになっています。

工事の安全を祈願

五つの団体を表彰

町サンライフ花だんコンクール

暮らしの中に花を育て、美しい郷土作りを進めよう、とサンライフ運動推進協議会が実施している〝花だんコンクール〟の表彰式が一月二十二日、町長室で行われ、柁城小学校や豊町長寿会など五つの団体に、宇都宮町長から表彰状が贈られました。

受賞者は次のとおりです。

■町花だんコンクール
金　賞……柁城小学校
　　加治木小学校
入　選……豊町長寿会
　　向江町自治会
　　東元第一・二長寿会

■南日本花だんコンクール
優秀賞……柁城小学校
入　選……加治木小学校

TOWN NEWS ●まちの話題

〝春風号〟は初出場

木田で馬踊りの練習が始まる

今年も木田地区で、春の訪れを告げる〝馬踊り〟の練習が、一月二十八日から始まりました。

今年出場する御神馬は、アシゲ色の明け三歳馬〝春風号〟。弥勒の池田俊夫さんと垂水純夫さんが一年前から準備を進めてきたもので、馬踊りは初出場です。

この日は、鹿児島神宮から神官を迎え、木田第二地区公民館で神事が行われた後、さっそく木田青壮年会（上水流功会長）の会員らが手に青竹を持ち、馬の足元をたたき、足がマンボのリズムを刻むようにする練習が始まりました。

〝春風号〟は、初出場ということもあって、三月四日の本番まで毎日夕方五時三十分から、厳しい特訓が続けられることになっています。（馬踊りは、三月四日隼人町の鹿児島神宮で開催されます。）

初出場の“春風号”

木田青壮年会員の手で特訓が

キネが重くて大変

もちつき大会を開催

青少年地域活動

〝昔ながらの「もちつき」を通じて、郷土に伝わる生活風習についての理解を深めよう〟と「青少年地域活動」もちつき大会が一月二十七日、福祉センターで開催されました。

もちつき大会には、野間隆之さんや国生俊子さんなど子供たち二十八人とお母さん方が参加。郷土館の永吉先生から、もちつきの由来や昔のもちつきの様子などを聞いた後、下楠薗トメさん（81歳）や下楠薗久士さん、下楠薗和子さん、佐藤くまえさん、前薗かよ子さん、寺迫慶子さんらが蒸し上げた十升のもち米を、ウスとキネを使って交代でつきあげました。

もちつきでは、初めて手にした重いキネに腰がふらつく子供もおり、みんな顔を真っ赤にしてがんばっていました。

また、つきあげたもちを丸める手つきも個性的で、中には四角いもちを作る子供もあり、まわりからは笑い声が沸いていました。

初めてもちつきを体験したという橋元英輔さんや神崎優美さんは「こねる手つきが、むつかしかった。でも、うまくできたと思いますヨ」と話していました。

「よいしょ」かけ声をかけながら…

丸くなるかな……

野元雅史さんが〝準大賞〟に輝く

MBC硬筆書写コンクール

野元雅史さんと錦江小学校長

第二十回MBC硬筆書写コンクールの表彰式は一月二十一日、鹿児島市で開催され、錦江小学校の野元雅史さん（四年生）の作品が見事〝第二十回記念準大賞〟に輝き、また、錦江小学校も学校賞を受賞しました。

MBC硬筆書写コンクールには錦江小学校からは四百六十二人全員が応募。野元雅史さんの作品は小・中・高校・一般など三百四十八団体から寄せられた七万二千九百十五点の応募の中から、中尾正子さん（鹿児島女子高校）の記念大賞に次ぐ、小学生では最高の賞に輝きました。

野元さんは、一年生の時から書道を習っており、「字を書くのは大好き。とてもうれしい」と受賞の喜びを語りました。

そのほかの特別賞の受賞者は、次の方々です。（敬称略）

■三菱鉛筆賞
藤原裕史（錦江小一年）
岩元聖子（錦江小五年）

■奨励賞
稲留里一子（錦江小二年）
新留寿子（錦江小三年）

■ブロック特別賞
佐藤真一郎（加治木小一年）

〝電動車いす〟を社会福祉協議会に

「24時間テレビ」チャリティー委員会が寄贈

操作はラクラク

町社会福祉協議会に十二月十九日、電動車いす一台が寄贈され、福祉センターで初試乗した稲田進さんらは「操作も簡単でいい」とすっかり気に入った様子でした。

これは、「24時間テレビ」チャリティー委員会が、昨年八月に実施した『愛は地球を救う』キャンペーンの基金をもとに「福祉の向上のために役立てて」と贈ったもので、社会福祉協議会では、福祉センターを訪れるお年寄りや体の不自由な方に利用してもらうほか希望者には貸し出しも行い、活用してもらうことにしています。

ちょっと小耳に

お客様の善意を社協へ寄贈

(株)こうか加治木店

「お客様の善意を社会福祉に役立てて」と、今年も(株)こうか加治木店（江夏利男社長）の前野店長が十二月十九日、町社会福祉協議会を訪れ、二万九千百円を寄贈しました。

これは、店内の三か所に置いている募金箱に、この一年間、お客様から寄せられた〝募金〟を寄贈したもので、十円や一円玉のほか五百円玉も四枚入っていました。

社会福祉協議会では、恵まれない方々のために活用することにしています。

ありがとうございました。

前野店長が寄贈

カメラ・ルポ

大きな視野を持った人間に

町成人式

大人の仲間入りをした新成人二百七十一人を励まし、祝福する町成人式は一月十五日、町福祉センターで開催され、岩重伸治さんと畠中紀子さん、重成彦さん、熊元優子さんの四人が、友情・青春・信頼・奉仕の〝ともしび〟を持って入場。全員がキャンドルを手に成人の誓いをたてました。

式典では、乙須教育長が「あなたたちは、21世紀をつくる人たちです。大きな視野を持ち、郷土を興す人間になってください」と式辞を述べました。

キャンドルを囲んで

また、宇都宮町長は「加治木町出身者として、たとえ町外におられようとも郷里加治木を愛し、加治木を興す気概を持って下さい。若いみなさんの燃えるエネルギーが必要なのです」と新成人を激励しました。

この後、新成人の代表の森木広剛さんに伊地知教育委員長から記念品が贈られ、また、吉田高晃さんら四人が〝はたちの抱負〟を力強く発表しました。

『新成人に贈る祝福の歌声』では、池端ミチ子さんとコールのばらのみなさんが「枯れ葉」や「初恋」などのすばらしい歌声を披露。新成人たちは、大人の仲間入りをした感激と喜びにひたっていました。

代表の森木さんに記念品を

活字を読み、良い友達を持つこと

第十一回町婦人大会

〝婦人の手で、美しいまちづくり〟をテーマに、親睦を深め活動のあり方や婦人としての役割を考えようと「第十一回町婦人大会」が、一月二十六日福祉センターで開催されました。

大会には、町各種婦人団体連絡協議会の会員二百人余りが参加。各団体の活動を、スライドで振り返った後、中元邦利・町衛生協会副会長や岩坪友則・岩掃社長などを交えて〝ごみ処理問題〟をテーマに全体会が行われました。

また、県青少年会館指導員の田中慶子先生が『高齢化社会における婦人の生きがいと役割』と題し「平均寿命が伸びれば伸びるほど活字を読み、目も耳も頭もさびつかないようにしておかなければなりません。また、最後の八年間は女性は本当に一人になってしまいます。その時同性の本当に心から打ち解けて話せる友達が支えになります」などと講演しました。

大会では最後に「となり近所仲良くあいさつを交わし、お年寄りをいたわり、地域行事に進んで参加します」など六項目の大会宣言を、全員の拍手で採択しました。

田中慶子先生の講演

マイペースで楽しく(左が塩屋さん)

ハンディも苦にせず見事完走

塩屋国武さん（加治木温泉病院）

町内一周駅伝競走大会で、加治木温泉病院の塩屋国武さんが〝目が不自由〟というハンディを乗り越え、見事、六区の二・二キロを完走しました。

塩屋さんは六年余り前から、加治木温泉病院のジョギングクラブに加入し、十六人の仲間と毎日、昼休みや夕方、熱心に練習を積んできました。

今回、監督会の承認を得て、初めて大会に出場。この日、一区を走ったばかりの木原正直さんの肩を借り、区間賞の七分四十二秒には及ばなかったものの、十分二十二秒の好タイムで走りぬき、ジョギング仲間から盛んな拍手を受けました。

塩屋さんは「マイペースで走れました。許可が得られれば、来年も走りたいですネ」と満足そうに話していました。

成人おめでとう

可能性の芽に向かって挑戦しよう

民法第三条は、「満二十年ヲ以テ成人トス」と定めています。

二十歳になったみなさん、今年は新しい門出の年です。国民の祝日である「成人の日」は、次代を担うみなさんへの熱い期待がこめられているのです。

おめでとう　二十歳。

これからはあなたがたが、この社会を支えていく中心となっていきます。

「成人の日」を機会に、いまの自分は何をしなければならないのか、何をしたらよいのかを考えてみましょう。

二十歳になったら国民年金に加入しよう

現在の日本は、本格的な高齢化社会に向かっています。

三十年後の二〇二〇年には、国民のほぼ四人に一人が六十五歳以上のお年寄り、という推計もあります。

高齢化社会の到来の中で、わたしたちの老後の生活に欠かせないものの一つに、国民年金制度があります。

これは、日本国内に住んでいる二十歳以上、六十歳未満の人が必ず加入する制度です。

加入された方が老齢（六十五歳）になったときや、万一、病気やけがで体や精神に障害が残ったときや死亡されたときに、年金が支給されます。

あなたの老後の生活などをより良くしていくために、はたちになったら役場の住民課に届けを出し、国民年金に加入しましょう。

ゲートボールを楽しむ

▼はたちの献血キャンペーン▲

血液は人工的にはつくれない

献血をすると、あなたの健康状態が分かります。

献血された血液は、肝機能・腎機能などについて検査され、その結果は本人に郵送されてきます。

このような利点を生かして、はたちからの健康管理を行ってみてはいかがですか。

みなさんから献血していただいた血液は、手術などの輸血だけに使われているのではありません。血液からはいろいろな有効な薬がつくられて、多くの人々のかけがえのない〝命〟を救っています。

しかし、人間の血液は、人工的にはつくり出すことができないものです。

多くの患者さんを救うために、新成人となった二十歳のみなさんの御協力をお願いいたします。

●成分献血●

〝成分献血〟といわれる献血方法をご存じですか。

血液中の必要な成分のみをいただく方法で、献血者にとっては体に負担が少なくてすみ、患者さんにより安全な製剤を、おとどけすることができる新しい献血方法です。

社会に価値ある一票を

はたちと選挙権

ボランティア活動で思いやる心をはぐくもう

の抱負

上，４人の方がたちの抱負”を，り一部省略して

吉田高晃さん

上里智子さん

農学を学ぶ者として

吉田高晃さん（上浜）

私は一九六九年に生まれ、以後約二十年間実に多くのことを学びここに晴れて成人の日を迎えることになりました。

私たちは、これから成人として生活していくのですが、これからは自由とセットで責任というものを背負わなければなりません。

さて、私の新成人としての抱負ですが、まず社会に役立てる人間になることです。そのためには、まず真実を見きわめる能力が必要なのではないでしょうか。

世の中には、さまざまな主義主張、その他多くの情報が混在しています。それらを周囲に流されることなく自分自身で分析し、自分にとっての真実を見きわめることのできるような人間に、私はなりたいのです。そして、その中から自分のなすべき役割をしっかりと定めなければなりません。

私は、今、農学を学んでいますが、その方面から自分の役割を捜していきたいと考えています。

かつて農業は、日本の近代化の原動力でありました。政府は、農民からの地租を官営工場に投資し日本の工業化を進めました。

現在、日本の農業は、広大な土地をもつ諸外国と対等に勝負しなければならない時代になりつつあります。

資本主義の原理から言えば大規模化、合理化の困難な日本は、コストの面で不利な状況にあるといえます。しかし、これは技術、品質の良さで乗り越えなければなりません。日本は、典型的な工業国ですが、バランスのとれていない経済の発展は、非常に危険なものであり、世界の急激な変化には、対応し得ません。日本の工業技術はすばらしく、日本の工業製品の需要が衰えることは考えにくいのですが、仮に、日本が外貨を失ってしまう時代が来た場合、かつて日本を支えた農業が壊滅していては、日本の復興は不可能です。

私たちには、いずれ来る工業資源の枯渇する時代の先まで考える業務があります。

私は、日本において、農業と工業のバランスが重要であると考え社会に役立てる人間となるために農学を学ぶ者として、とりあえず農学の勉強を続け、安全で良質な食料の生産、優れた品種の開発、収量の増加、生産コストの低減、優れた土壌、優れた栽培法、その他諸々のテーマについて、考えてゆきたいと思っていきます。

町に記念樹を

純粋な気持ちを失わずに

上里智子さん（内原田）

平成という元号がスタートしてから二年目の今年、皆さんと共に成人式が迎えられることを心からうれしく思います。

二十歳の誕生日には、何の感慨もなく過ごしましたが、今朝、振り袖を着てみると「あ、もう成人式か」としみじみと実感しました。

子供のころ、早く大人になりたいと思っていましたが、今日、この日から、両親をはじめとするまわりの人々が、そして社会が、成人として扱ってくれることと思います。もう、甘えは許されません。身の引き締まるような緊張感を感じると同時に、少し面映ゆくもあります。

先日、小学校の時に埋めたタイムカプセルを開ける機会がありました。その中に、銘々、好きなことを記した大きな布が入っていました。

私は「苦あれば楽あり」と書いてある、自分のものを見つけたとき『はっ』としました。

最近の自分を振り返ってみると楽しさばかりを追求するあまり、その後の苦しみにいつもさいなまれているような気がします。「苦あれば楽あり」というよりも「楽あれば苦あり」です。

小学生であった私が、深く考えて、その言葉を考えたとは思えませんが、現在の私の実情を考えると、非常に恥ずかしいでした。

正に、十二歳であった私から、今日、成人式を迎える私に、一石を投じられた形です。

そういえば、子供のころはいろいろな夢を見、さまざまな期待に胸を膨らませていました。現実の中に身を置いていると、ややもすれば、そういう子供のころの夢などは忘れがちです。しかし、だからこそ、大切にしていきたいと思いました。あの時、あのころの純粋な気持ちをいつまでも失わずにいれたら良いのに、と思います。

甘いと笑われそうですが、そうすることが困難であるからこそ大事にしたいのです。

今日は、成人式という名目の下みんな集まることができました。しかし、明日はもう、職場に、あるいは学校へと帰っていかなければなりません。

みなさん、いろいろ考えたことがあると思います。どうか、今日のこの日を無駄にしないよう、共に努力していきましょう。

新成人

町成人式の席
発表された“は
紙面の都合によ
掲載します。

鎌田ユミ子さん

川原孝明さん

21世紀へ向けての土台作りを

鎌田ユミ子さん（日木山団地）

今日、一月十五日は、昨年までの私たちにとりましては単なる祝日にしかすぎなかったのですが、自分たちが主役である今年の成人の日は、何だか特別な日のような気がします。

ここに集われている皆さんの胸の内にも様々な思いが抱かれていることでしょう。ところが、いざ抱負を述べて下さい、と言われてすぐに答えることができる方がどれくらいいらっしゃるでしょう。実は、私も、この抱負を考えるのに一苦労しました。それだけ、日常自分自身を見つめる機会がすくないという事なのかもしれません。

昨年は、日本国内はもちろんのこと、世界的にも正に時代の変わり目の年でした。国内では、昭和天皇の崩御を始め、昭和を代表する多くの方々が亡くなりました。

そして、私が初めて体験しました参議院選挙では、与野党の議席数が逆転する、という事も起こりました。

世界では、中国に始まった民主化運動が東欧諸国まで広がり、ベルリンの壁も崩壊しました。ブラウン管を通して、私たちにとっては当たり前に感じられる「平和」や「自由」の尊さを改めて考えさせられました。平成元年は、正に「世界は着々と変わりつつあり、時間は確実に流れている」という事を実感した年でありました。

すばらしい歌声が新成人を魅了

こうした世の中の動きに目を向けている時、ふと我に返りますと自分は何とちっぽけな存在なのだろう、とさびしくなることがあります。けれども、今は人生七十年とも八十年とも言われています。私たちは、まだその四分の一を過ぎたか過ぎないかの年でありまして、これから、まだまだ教養や生活者としての知識を身につける事ができます。ですから、自分は世の中の一構成員であることを念頭に置いて、成人者としての権利や義務を謙虚に受け止め、二十一世紀へ向けての土台作りに邁進して行くべきでしょう。

平成という時代、そして、二十一世紀は、私たちが活躍しなければならない時です。皆さん、共にがんばりましょう。

成人式を反省の機会に

川原孝明さん（麓）

私は、中学の時から調理に興味を持ち、城西高校の調理科に進みました。そこで、調理師免許を取得し調理師としての長い長い修行の道を選び今日に至っています。

私は、高校へ通学する三年間の足として自転車を利用していましたが、小山田からは帰りは押して上がらねばならずとても苦になりました。親にバイクが欲しいとかこんな田舎に家を建てるから交通の便が悪いのだとか自分勝手なことばかり言っては両親を困らせたものです。そのたびに親から返って来る言葉が「こんな田舎に大きな家があり、そこから通学通勤できることをありがたく思え」でした。そんなこともあって就職する時は絶対便利のいい大都市がいいと思い、都会へと修行の第一歩を踏み出したのです。私の思ったとおり何もかも便利で、金さえ出せば何一つ不自由など無いところです。都会へのあこがれもさることながら、仕事に対する情熱に胸をふくらませ、好きな仕事についたはずなのに、来る日も来る日も洗い物と掃除とで毎日が過ぎ、寮は先輩の方々と一緒で口のきき方から気を使い、一年が過ぎるころには、いらだちとあせりと挫折感だけが大きくのしかかる毎日になったのです。これが修行なのにとわかってはいても、どうしようもなく田舎で出なおしたいと思うようになったのです。

私は、自分自身に負けてしまったのです。ぜいたく言っていた私が愚か者であった、とわかったような気がします。親に言わせると「まだまだこれからだ」と言います。親の言葉の一言一言の意味をかみしめながら、今私は、人情味ある方々の中で楽しく働かせてもらっています。これも失敗から得た楽しさだと思います。

私の進む道のりは、はてしなく無限です。一生涯が修行かも知れません。これから先、何回ともなく失敗もするであろう、挫折もあるであろうと思います。しかし、失敗を恐れず、前向きに努力して行きたいと心に決めております。

そして、一日も早く、立派な調理師になることをここで誓いたいと思います。

七十九チームが健脚を競う

第23回町内一周駅伝競走大会

新春恒例の第二十三回町内一周駅伝競走大会は一月二十八日、加治木小学校をスタート・ゴールとする男子コース（七区間）と、女子は木田本通線などを回る七区間のコースで開催され、七十九チームが健脚を競いました。

大会には、鹿児島市や溝辺町など町外からのオープン参加もあり中継所や沿道ではおおぜいの人たちが、いっしょうけんめいに走る選手たちに盛んな声援を送っていました。

結果は、次のとおりです。

■団体成績

〔小学生男子の部〕

優勝 柁城ソフトボールスポーツ少年団A 45分04秒
二位 錦江野球スポーツ少年団A 46分11秒
三位 竜門スポーツ少年団A 46分35秒

加治木小学校をスタート

〔小学生女子の部〕

優勝 柁城ミニバスケットスポーツ少年団A 49分00秒
二位 加治木バレー少年団A 50分56秒
三位 錦江バレースポーツ少年団A 51分10秒

〔中学生男子の部〕

優勝 加治木中陸上部A 1時間19分39秒
二位 加治木中陸上部A 1時間19分40秒
三位 野球部A 加治木中陸上部B 1時間24分18秒

〔中学生女子の部〕

優勝 加治木中陸上部A 44分26秒
二位 加治木中陸上部B 50分08秒
三位 加治木中陸上部C 51分17秒

〔高校生男子の部〕

優勝 加治木工業陸上部A 1時間10分38秒
二位 加治木工業陸上部B 1時間13分09秒
三位 加治木工業野球部A 1時間18分14秒

〔一般男子の部〕

優勝 消防署A 1時間18分27秒
二位 走友会A 1時間18分37秒
三位 加治木警察署 1時間19分26秒

〔一般女子の部〕

優勝 加治木小PTA 1時間04分36秒

〔オープンの部〕

優勝 九電駅伝部鹿児島 1時間19分47秒
二位 溝辺走ろう会 1時間25分50秒
三位 九電鹿児島料金課B 1時間29分37秒

タスキが手から手へ

区間賞

〔小学生男子の部〕

一区 園田貴範 5分27秒
二区 八木大成 6分54秒
三区 兼松宏和 6分00秒
四区 田之上直記 7分05秒
五区 大園潤一郎 6分12秒
六区 新門松治 6分53秒
七区 上野倫睦 5分59秒

〔小学生女子の部〕

一区 新福紫織 6分19秒
二区 児玉ともよ 7分16秒
三区 岩元美詳子 6分34秒
四区 向江真希 7分09秒
五区 樫原里子 6分42秒
六区 南田恵 7分26秒
七区 井料利佳 6分19秒

〔中学生男子の部〕

一区 南貞人 12分18秒
二区 川原貴弘 13分21秒
三区 竹添博行 9分36秒
四区 神薗隆行 10分32秒
五区 谷口大作 10分59秒

沿道から声援が飛ぶ

六区 竹下公宏 8分06秒
七区 川田純也 12分59秒

〔中学生女子の部〕

一区 大野かおり 5分55秒
二区 向江真智子 6分39秒
三区 上野希里子 5分42秒
四区 黒田友貴子 7分13秒
五区 川畑輝美代 5分55秒
六区 本田友貴子 7分31秒
七区 原樹里 5分31秒

〔高校生男子の部〕

一区 徳田義人 11分07秒
二区 満山忍 11分51秒
三区 宮田博之 8分29秒
四区 前田堅太郎 9分30秒
五区 小倉千春 9分46秒
六区 鮫島覚 7分21秒
七区 東川正文 12分34秒

〔一般男子の部〕

一区 原口正則 11分30秒
二区 村岡達雄 11分33秒
三区 岩穴口弘行 9分30秒
四区 笹峰勉 10分03秒
五区 中原伯昌 11分10秒
六区 隈元康浩 7分42秒
七区 高嶺和幸 13分27秒

〔一般女子の部〕

一区 神園羊子 8分12秒
二区 山上日出子 11分00秒
三区 田畑すみえ 8分09秒
四区 満塩和枝 9分45秒
五区 安永町子 8分14秒
六区 宮田尚子 10分30秒
七区 森本礼子 8分46秒

〔オープンの部〕

一区 久保睦男 12分02秒
二区 水枝谷博文 13分48秒
三区 石川仁司 9分24秒
四区 室屋守孝 10分12秒
五区 末吉浩二 10分41秒
六区 市園純治 8分17秒
七区 荒田智 12分53秒

特別表彰

福森茂（加治木走友会） 58歳
小原争時（加治木走友会） 50歳
池田初夫（加治木走友会） 55歳
大脇武二（加治木走友会） 58歳
豊村隆（加治木走友会） 63歳
竹内敬一郎（加治木走友会） 63歳
大浜政徳（加治木走友会） 71歳
神田美香（溝辺走ろう会） 55歳
白浜憲男（溝辺走ろう会） 53歳
横山秀行（溝辺走ろう会） 53歳
重森道雄（溝辺走ろう会） 56歳
北薗正和（鹿九電駅伝部） 53歳

竜門句会

炭焼く掌子の送金を甲で受く　川崎　黒兎

元旦や簪の中の枹さばき　中村チヨ子

初詣青竹柄杓香も汲みて　内田美津代

姿見にもらす一語や木の葉髪　佐々木かすみ

柚子の香に恙なき日の湯の溢れ　神村　洋子

傘寿までしたたか生きて年迎ふ　加藤　白柳

冬麗の猫はひらりと屋根移る　三浦　ゆう

川べりの句碑の濕りや冬の霧　竹山　洋子

寒日和揺らす園児の鼓笛かな　柳田　稔

ひとときを古き暖簾の炭火かな　古江　重美

凧あぐる登校拒否の孫と居て　恒吉　斗南

自転車の会釈駆けゆく師走街　白尾　澄子

遺る句の一つを欲りて年迎ふ　高木　正男

さつま狂句

▼兼題『力』（ちから）　榊　牛尾先生　選

天　貧乏世帯　子がそいないに　力れなっ　高木牛丸

唱　その中ち　きっと笑る日も来もそ

地　消費税　廃止パワーが　け冷めでっ　佐藤蔵王嶽

人　唱　結果が出った　今度ん選挙

選いも選っ　能力ん無亭主ゆ　引当てっ　長重天玄

唱　選い損ね言も　稀いなあっで

▼席題『暇』（ひま）　榊　牛尾先生　選

天　暇が無ち　言ながら女房は　長電話　出水円月

唱　言わんてんよか事ずい　喋っ

地　粗大塵ん　世間ん一杯　暇を撒っ　鮫島四男坊

唱　わが家い居れば　嫌がうるせで

人　正月礼い　座い暇も無　長男ん嫁　市成早乙女

唱　エプロンがけで　一日もけ済ん

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

暮らしのワンポイント

毛糸の編み直し

ほどいた毛糸に一工夫

古くなったセーターなどをほどいて、新しく編み直すのも手編み毛糸の楽しさです。

セーターなどをほどくときは、大きめのポリ袋にほどくセーターを入れ、糸の先を引き出しておいて、ポリ袋の口をセロハンテープで閉じます。そのままほどいていくと、毛ぼこりがたたず、ノドを痛めません。毛糸をほどくと、よく大きなクシャミがでるのは、この毛ぼこりが原因です。

編み直しをするときに困るのは、ほどいた糸に編み癖がついて縮れるのと、切れやすいことです。編み癖は、毛糸を巻き取った「カセ」を、煮たったヤカンなどの湯気に当てて、湯のしをします。これだけで縮れが伸びおけば、引っ張っても簡単に切れたり抜けたりしません。

また、編み直しの毛糸は、滑りが悪く編みにくいものです。ロウソクの根元を少し輪切りにして、ロウソクの穴に毛糸を通して埋め込めば、次に出したときに糸口をすぐに見つけることができます。

ほどいた毛糸を編み直すときに出る毛糸クズで、針山を作ってみましょう。ロウソクを削って、毛糸クズと混ぜて針山を作ると、適当にクッションが効いて、針の刺しやすい、滑りのいい針山ができます。

毛糸もふっくらとして弾力を取り戻します。

編み直しの毛糸は、すぐに切れたり抜けたりしがちです。これを補強するには、毛糸に糸を巻き付けて、ひとえ結びにして編むと滑りが良くなります。

ほどいた毛糸をしまうときは紙にくるんだ防虫剤をシンに、毛糸を巻き取っておけば虫がつきません。また、巻き取った毛糸玉の先に、別の色の糸をつけ

3月の日曜在宅医

※診療時間は，午前９時～午後５時まで（原則として）

※当日の往診並びに緊急以外の受診は，御遠慮下さい。

	在宅医		住所	☎
4日	鬼丸	小児科	新生町	⑫0308
11日	松本医院		木田	⑬1911
18日	玉利医院		本町	⑫2328
21日	加治木整形外科		港町	⑫3711
25日	大井病院		本町	⑬2291

加治木町役場は4月から第2・第4土曜日は休みです

加治木町役場は四月から、第二・第四土曜日が休みとなります。御協力をお願いいたします。

◆休みとなる所

役場庁舎▽学校給食共同調理場

水道課

◆なお、次の所は、今までどおり業務を行います。

小・中学校▽町立幼稚園

町立保育所▽町立図書館

（郷土館を含む。）

●「出生届」「死亡届」「婚姻届」などの受付や、「埋葬許可証」の発行は、従来どおり〝日直〟が行います。

●今まで収入役室で納めていただいた税金、保育料、住宅使用料などの納期が「第二・第四土曜日」に当たるときは、月曜日に納入期限が変更されます。

※詳しくは、総務課にお問い合わせ下さい。

所得税、消費税（個人事業者）の申告はお早めに

確定申告の時期が近づいてきました。

所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までとなっています。

所得税は、あなた自身が正しく所得を計算し、税金を計算して納付する申告納税制度をとっています。

所得金額や税額は正しく計算し申告と納税は期限内にお済ませください。

さて、本年から個人事業者の方の消費税確定申告も、新たに加わりました。申告・納付期限は、四月二日です。消費税の申告が必要な方は、昭和六十二年一月から十二月までの課税売上高が三千万円を超える方となっています。

確定申告で分かりにくい点がありましたら、税務署におたずねください。

■加治木税務署

（☎62－2161）

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権養護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七

蔵王団地四七－二B－一四

（☎63－3787）

中摩多美子　反土二七五六

（☎62－2768）

竹下利行　木田一四九

（☎63－1818）

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　小陣　坂元克行（母　ハマ七二）

二万円　天神　久保幸禧（母トキエ六六）

五万円　里ノ下　川崎鉄雄（父　清二九五）

五万円　浜村　竹中八重子（夫　國雄五四）

一万円　上浜　柳川ハツ子（夫　徳二六四）

十万円　小田倉　郡山ナツ子（夫　明達七一）

三万円　於里　前田多恵子（母千代子九〇）

二万円　吉原　白石マツ子（夫　良吉八三）

十万円　江口団地　丸野フク（夫　三郎六九）

三万円　楠園　下楠薗ミツ（夫　豊志九一）

二万円　岩原西　吉野たみ（母　ヨ子九四）

三万円　岩原西　松木サチ（夫　正國七七）

五万円　永原　福森俊朗（父　勝美八五）

五万円　吉原　吉村　茂（妻　晴子六六）

五万円　長谷　音之宮辰二（妻ミサ子五六）

＝町老人クラブ連合会へ＝

三万円　於里　前田多恵子（母千代子九〇）

二万円　天神　阿久根喜久代（夫重雄八〇）

＝町育英奨学資金へ＝

五千円　上浜　柳川ハツ子（夫　徳二六四）

三万円　於里　前田多恵子（母千代子九〇）

＝町福祉課へ＝

三万円　天神　阿久根喜久代（夫重雄八〇）

▽一月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

記事訂正とおわび

一月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

▽九ページ「民生委員・児童委員名簿」の表中

永井チリ子さんの担当自治会

「今町、上浜、中浜、下浜、毘沙門町」（掲載もれ）

▽十六ページ「御寄付」中

里ノ下　川崎鉄雄（次男　清二九六）→（父　清二九六）

うぶ声

出生児　保護者　自治会

中村　仁美　俊一　原ノ門

橘木　尚子　國丸　須崎

今村　早希　一郎　須崎

桐山　富衣　正文　蔵王団地

桑幡　隆行　学　萩原

大山　雄也　純二　高井田

深町　翔介　向龍　赤坂

渡邊　麻美　俊樹　東塩入

末吉　諒介　勝美　西江口団地

柳川　静香　公寿　原ノ門

内村　正忠　正美　豊町

東　将吾　武久　赤坂

緒方　公彦　幸吉　上木田

南原　大助　秋広　吉原

藤原　大地　久一　西江口団地

田中　慎　秀二　西江口団地

久保薗賢二　忠弘　竹下

谷口　祐樹　知繁　楠園

梅橋　希絵　弘之　日木山黒川

岩崎　千尋　俊幸　南塩入

▽一月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。